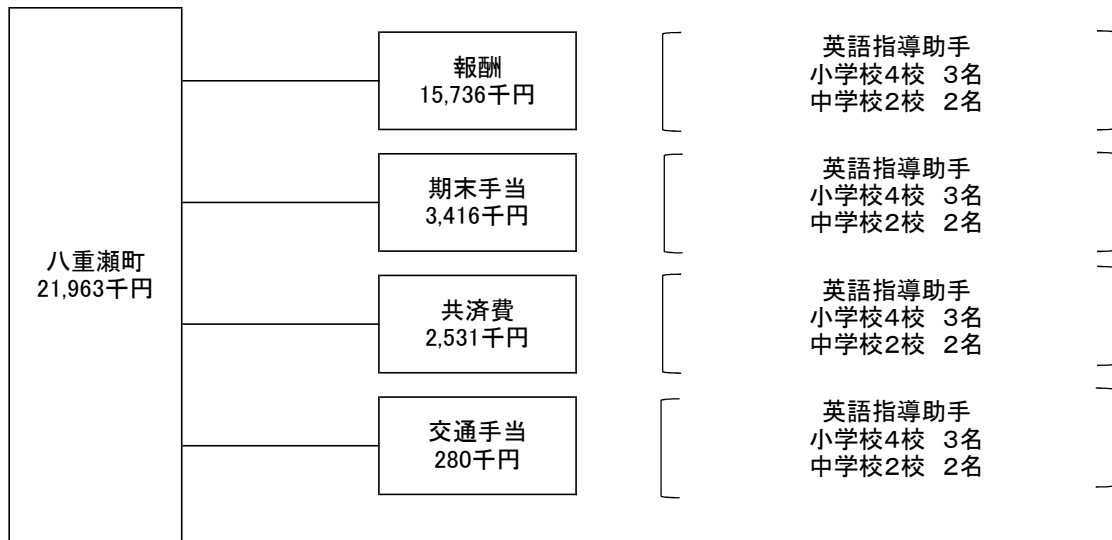


市町村名		八重瀬町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-① 八重瀬町外国語指導強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図り、国際社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、町内小中学校に英語指導助手を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		14,227	16,404	16,404	20,582	21,963	
		14,227	16,404	16,404	21,060	21,963	
		0	0	0	478	0	
		—	—	—	—	—	
		14,227	16,404	16,404	21,060	21,963	
		13,894	15,956	16,173	20,853	21,963	
		11,115	12,765	12,938	16,682	17,570	
		0	0	0	0	0	
		97.7%	97.3%	98.6%	99.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初の計画通りの人員を配置する事ができたため、予算は全額執行となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	英語指導助手:5人配置	目標	(4人)	(4人)	(5人)	(5人)	
	小学校4校:3人配置(分担) 中学校2校:2人配置	実績	4人	4人	5人	5人	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 英語指導助手を5人(小学校3人配置し分担・中学校2人配置)配置した。 小学校では英語への興味・関心を高めるため「楽しい英語」を意識した授業に取り組んだ。 中学校では英語指導助手のネイティブな英語に触れ、英語力向上に繋がる授業に取り組んだ。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	①小学校 英語に対する興味・関心が高まった(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		96.2%	84.8%	77.8%	
	②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差+1.0以上	目標	()	(±0ポイント以上)	(±0ポイント以上)	(+1ポイント以上)	()
		実績		-0.03ポイント	+1.4	+0.85	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の英語に対する興味・関心度については、77.8%と目標を達成出来なかった。英語指導助手を配置したことによる「楽しい英語」の取り組みが学習意欲の向上に繋がるよう更なる工夫が必要である。 中学校の沖縄県学力到達度調査(英語)における県と本町の平均正答率の差は、+0.85ポイントとなり、成果目標である+1ポイントを下回る結果となった。 						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校における英語に対する興味・関心度に関するアンケートによるアンケート検証結果は77.8%となり目標未達成となった。 ・中学校における、目標値である沖縄県達成度調査による平気正答率との差が+0.85%となり目標未達成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では、英語に対する興味・関心が高まるよう、英語指導助手の更なるスキルアップが必要である。 ・中学校でのネイティブな英語を活用した授業の活用による中学生の英語力向上への取組が必要となっている。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・小学生に対する英語への興味関心を高めるための英語指導助手の更なるスキルアップ研修等の充実を図る。 ・中学生に対する学習意欲喚起のための授業体制を引き続き継続していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
21,963	21,963	17,570	4,393	0



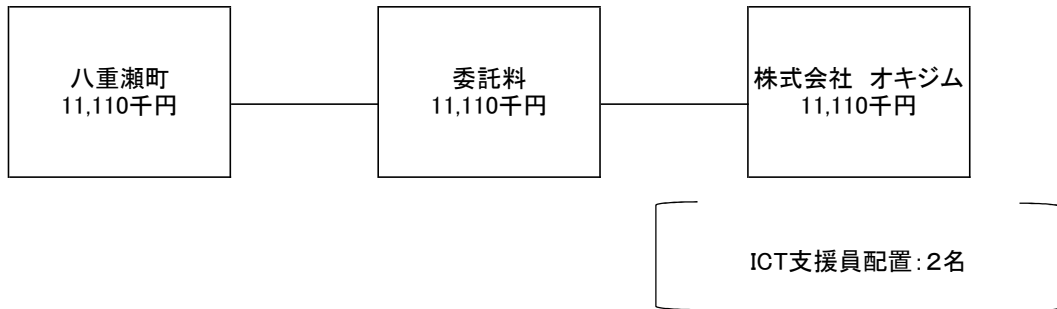
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は町規定に基づき雇用契約を結んでおり妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・配置予定人数分を町規模等に基づき計上した。不用額も発生しておらず、予算規模は概ね適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費用・用途については、外国語指導助手に対する報酬・期末手当・共済費・交通手当であり、必要なものに限定されていた。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-② 八重瀬町ICT支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	ICT環境を効果的に活用した分かりやすい授業を展開するため、小中学校にICT支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		8,108	8,255	8,255	11,368	11,368	
		8,108	6,906	8,255	9,020	11,110	
		0	▲1,349	0	▲2,348	▲258	
		-	-	-	-	-	
		8,108	6,906	8,255	9,020	11,110	
		6557	6090	4039	9,020	11,110	
		5245	4872	3231	7,216	8,888	
		0	0	0	0	0	
		80.9%	88.2%	48.9%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	予算減額については、委託業務契約実績に伴う減額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	ICT支援員:2人配置		目標 (パソコン指導員配置 小学校2人 中学校2人)	(パソコン指導員配置 小学校2人 中学校2人)	(ICT支援員配置 2人)	(ICT支援員配置 2人)	
	小学校4校・中学校2校:2人配置(分担)		実績 小学校1人 中学校1人 小・中(兼務)1人	2人	2人	2人	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初の計画通りICT支援員を2人確保し、小学校4校・中学校2校を巡回で配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	90.5%	93.4%	96.5%	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	・児童生徒に対するアンケート検証の結果「ICT支援員(パソコンの先生)がいると、授業は分かりやすいですか?」の質問に対し、「とてもわかりやすい」「わかりやすい」と回答した児童生徒の割合が96.5%で目標を上回った。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ICT支援員を配置したことで、専門的な支援体制が図られ児童生徒や教員のICT機器の活用能力が向上したと考える。 児童生徒へのアンケート結果が96.5%だったことから、成果目標であるICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな機器の導入やプログラミング授業の導入など、急速に発展する情報化社会に児童生徒や教員が取り残されることがないようにサポートする必要がある。 アンケートによる検証を行いながら児童生徒の学習ニーズを把握していく必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 急速に発展する情報化社会に対応できるよう、支援の内容やサポート体制を検討する。 ICT支援員の配置を継続する事で、児童生徒や教職員のICTに対する理解度を高めていく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,110	11,110	8,888	2,222	0



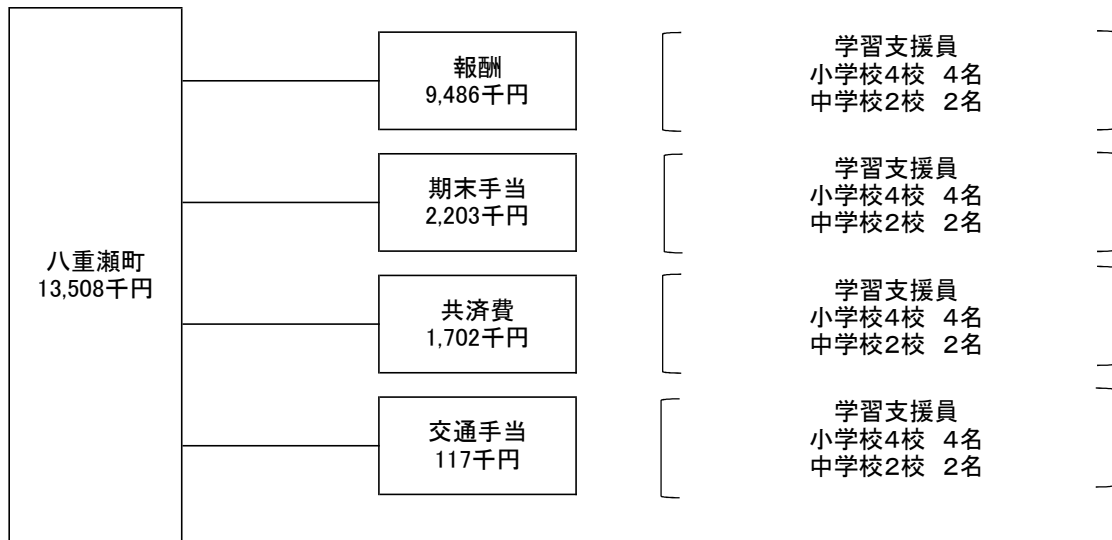
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 委託業者はプロポーザル方式の業者選定をしており、妥当であったと考える。 不用額を出すことなく事業執行できたため適正であったと考える 費目、使途については毎月検査を行い、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③ 八重瀬町学力向上支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進		
事業内容	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導で、学力の向上を図るため町内小中学校に学習支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		28,897	33,022	33,022	34,602	15,942	
		28,897	25,594	33,022	21,060	14,258	
		0	▲ 7,428	0	▲ 13,542	▲ 1,684	
		—	—	—	—	—	
		28,897	25,594	33,022	25,537	14,258	
		22,406	22,255	23,538	24,657	13,508	
		17,924	17,804	18,830	19,726	10,806	
		0	0	0	0	0	
		77.5%	87.0%	71.3%	96.6%	94.7%	
予算の状況の説明	学習支援員の勤務実績に伴い750千円の不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	学習支援員:6人配置	目標	(小学校10人 中学校6人)	(小学校10人 中学校6人)	(小学校10人 中学校4人)	(小学校4人 中学校2人)	
	小学校4校:4人配置 中学校2校:2人配置	実績	小学校9人 中学校4人	小学校8人 中学校3人	小学校8人 中学校2人	小学校4人 中学校2人	
		目標	()	()	()	()	
達成状況説明	・小学校4人・中学校2人の計6人の配置計画に対して、計画通りの配置ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -0.1ポイント以上	目標	()	(±0P以上)	(±0P以上)	(-0.1ポイント)	()
		実績		-2P	+0.13	-1.45	
	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 ・中学校(国語・数学) 平均以上	目標	()	(-2.4P以上)	(-1.6P以上)	(平均以上)	()
		実績		+0.63P	+1.13	+8.75	
進捗状況説明	・小学校の沖縄県学力到達度調査(国語・算数)における県と本町の平均正答率の差は、-1.45ポイントで成果目標である-0.1ポイント以上を下回っており目標未達成となった。 ・中学校では、沖縄県学力到達度調査(国語・数学)における県と本町の平均正答率の差は、+8.75ポイントで成果目標である平均以上を上回っており目標を達成する事ができた。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校においては県平均と差があり改善に向けた取組が必要である。 ・中学校は成果目標を達成しており、学習支援員を配置したことにより学力の向上に繋がっており、今後も維持していく必要がある。 ・年度途中からの配置や退職等もあり、切れ目のない支援実施に向けた学習支援員の継続確保が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学力向上に向け、学習支援員を活用した支援体制を継続して行う。
	今後の取り組み方針	
<p>学習支援員の配置を継続するとともに、切れ目ない支援の実施に向けた人員確保を継続して行っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
13,508	13,508	10,806	2,702	0



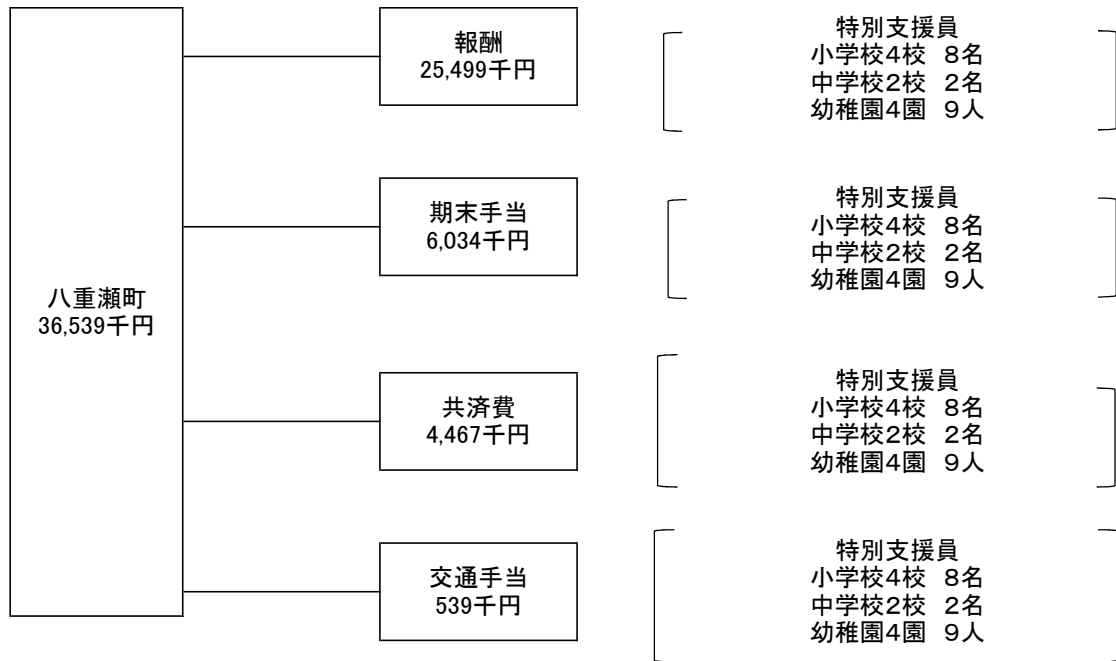
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は町規定に基づき雇用契約を結んでおり妥当である。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、予定人数の確保が概ね計画通りできたが、途中退職があり不用額が生じた。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費用・用途については、支援員に対する報酬・期末手当・共済費・交通手当であり、必要なものに限定されている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④ 八重瀬町特別支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	特別な支援を要する幼児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内幼小中学校に特別支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		30,933	62,605	62,605	60,731	34,792
			30,933	49,504	62,605	49,079	37,359
			0	▲ 13,101	0	▲ 11,652	2,567
			—	—	—	—	—
	B. 執行済額	20,631	42,474	39,108	47,166	36,539	
	うち交付金充当額	16,505	33,979	31,286	37,733	29,231	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	66.7%	85.8%	62.5%	96.1%	97.8%	
	予算の状況の説明	特別支援員の勤務実績に伴い820千円の不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	特別支援員:19人配置 幼稚園4園:9人配置 小学校4校:8人配置 中学校2校:2人配置		目標 (幼稚園16人 小学校14人 中学校6人)	(幼稚園16人 小学校14人 中学校6人)	(幼稚園14人 小学校12人 中学校4人)	(幼稚園9名 小学校8名 中学校2名)	
			実績 幼稚園13人 小学校14人 中学校4人	幼稚園11人 小学校11人 中学校3人	幼稚園11人 小学校10人 中学校2人	幼稚園9名 小学校8名 中学校2名	
			目標 () () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()	
			実績 () () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()	
達成状況説明	小学校8人・中学校2人・幼稚園9人の計19人の配置計画に対して、計画通りの配置ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目標 () () () ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	() ()
			実績 () () () ()	87.2%	82.8%	83.3%	() ()
			目標 () () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()
			実績 () () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()
	進捗状況説明	保護者に対するアンケート検証において「特別支援員さんの対応に満足していますか?」の質問に対し、「とても満足している」「満足している」と回答した保護者の割合が83.3%で目標を上回った。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育システムの理念実現に向け、学校においても多様な教育的ニーズが出てきている。ニーズに対して適切な支援を行えるよう、特別支援員としてのスキルがより求められるようになってきている。 ・年度途中からの特別支援員配置や退職等による人員確保が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な幼児・児童・生徒への適切な支援を行えるよう、特別支援員の更なるスキルアップを図る必要がある。 ・計画した人員を確保するため募集方法等の検討が必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園・小中学校の現状把握をし、現場に適した人員配置を行うため、HPやSNSを活用した人員募集による確保に努める。 ・特別支援員のスキルアップのため、意見交換会や研修会以外で活用できる取組について検討を行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
36,539	36,539	29,231	7,308	0



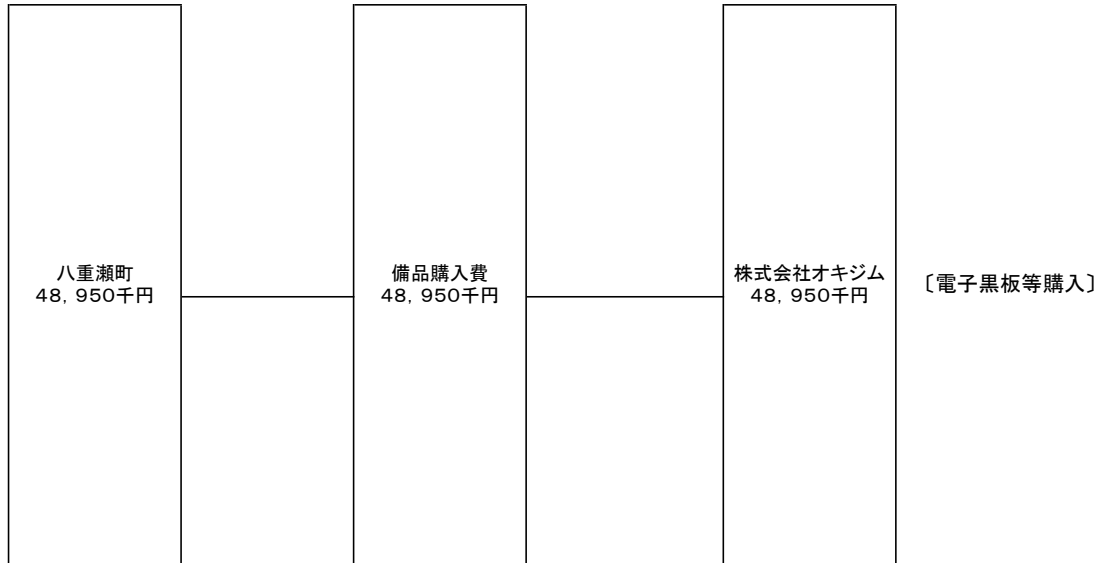
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先は町規定に基づき雇用契約を結んでおり妥当である。 ・予算規模については、途中退職等により不用額が発生した。 ・費用・用途については、支援員に対する報酬・期末手当・共済費・交通手当であり、必要なものに限定されている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤ 八重瀬町ICT教育強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
	担当部署名	教育委員会 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進
事業内容		GIGAスクール構想の実現に向けて、校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を導入し、主体的な学びの意欲向上及び更なる学力向上を目指す。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	4,908	2,904	6,044	63,037	93,001
	(b) 予算現額	4,908	2,904	5,811	56,601	48,950	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 233	▲ 6,436	▲ 44,051	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	4,908	2,904	5,811	56,601	48,950	
	B. 執行済額	4590	2789	5,810	56,601	48,950	
	うち交付金充当額	3672	2231	4,648	45,280	39,160	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	93.5%	96.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		予算については、適宜計画の変更を行い執行率100%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	電子黒板等(60台) 電子黒板用パソコン(60台)		目標 (3台)	(5台)	(6台)	(60台)	
			実績 3台	5台	6台	60台	
	学習用端末		目標 ()	()	(1,064台)	()	
		実績		1,064台			
達成状況説明	・当初計画通り、2中学校に対し電子黒板及び電子黒板用PCを47台、4小学校に対し13台を設置することができた。 (東風平小学校1台・白川小学校6台・具志頭小学校3台・新城小学校3台・東風平中学校34台・具志頭中学校13台)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	町内小中学校の全教室へ電子黒板及び電子黒板用PCを導入する。また、中学校に整備されている電子黒板は、校内ネットワークとの接続に対応していないため、接続可能な電子黒板及び電子黒板用PCを整備する。(R3年度の目標値:100%)		目標 ()	()	()	(100%)	()
			実績			100%	
	児童生徒へのアンケートにより、ICT機器を活用した授業が分かりやすかった(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	91%	91%	92%	
進捗状況説明	・電子黒板未整備の小学校への電子黒板の整備を行うことができた。 ・校内ネットワークとの接続が可能な電子黒板を中学校へ整備する事ができた。(100%) ・児童生徒に対するアンケート検証を実施したところ、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合は92%となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の増加に伴い、学級が増加している学校があるため、引き続き電子黒板の整備が必要となっている。 小学校に設置している電子黒板について、一部の機器は校内ネットワークとの接続に対応していないため、校内ネットワークと接続可能な電子黒板の整備を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板の整備に向けて、学級の増設状況を把握し、機器の導入見込数を適宜把握する必要がある。 引き続き児童生徒へアンケートを行い、ICT機器を活用した分かりやすい授業を継続する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 町内小中学校のICT機器設置状況や児童生徒数に応じた導入を計画し、主体的な学びの意欲向上、学力向上を支援していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
48,950	48,950	39,160	9,790	0

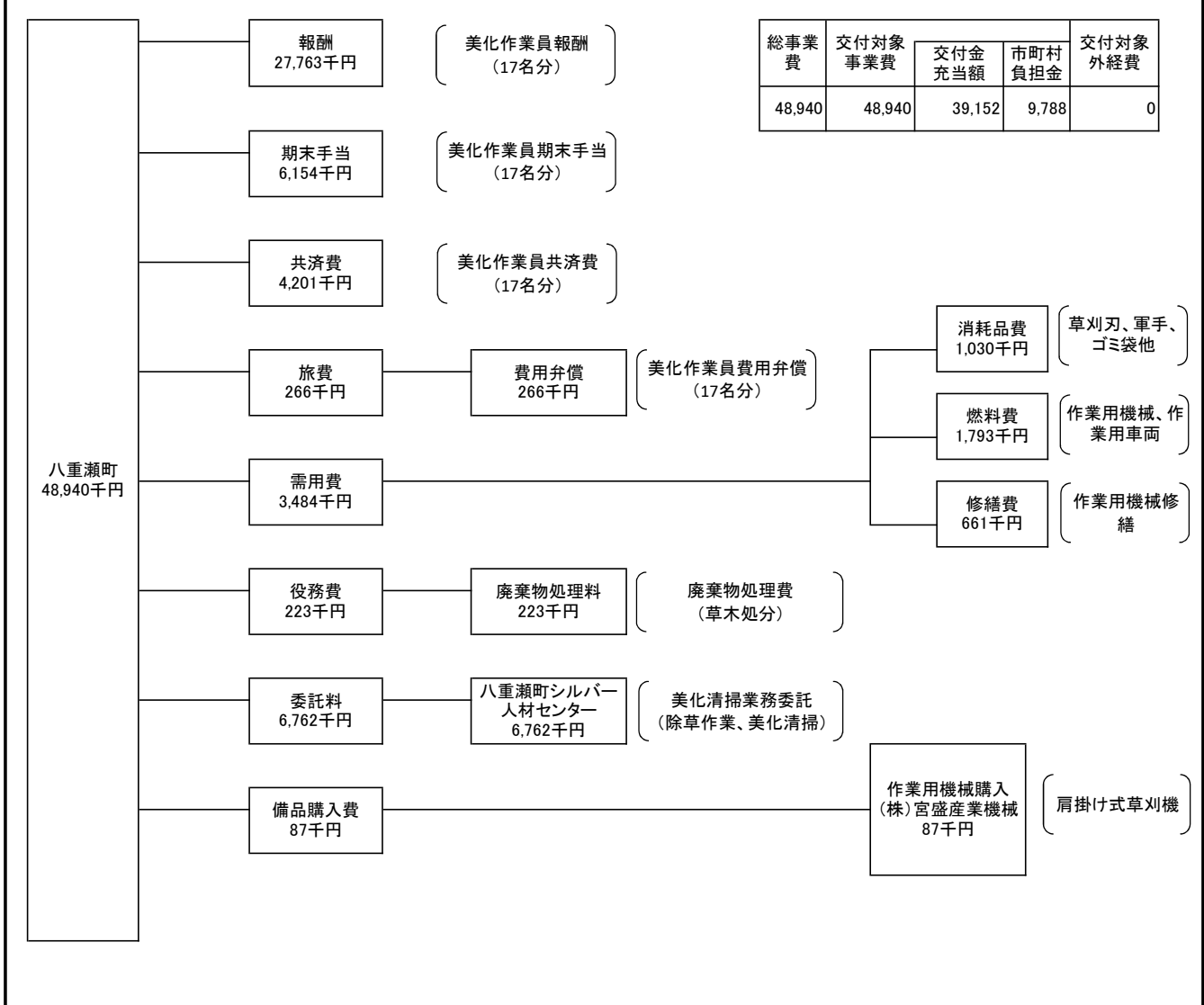


資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・事業者は指名競争入札で選定しており、妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模について、事前見積、本町の過去の購入実績等を参考に積算しており、購入台数も含めて適切な規模と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途について、電子黒板の導入にあたり、必要なものに限定されている。

市町村名		八重瀬町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-① 八重瀬町観光地美化作業事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	経済建設部 都市整備課・土木建設課 教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、町内の観光客が訪れる観光地や施設、観光地アクセス道路等の美化清掃を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	54,355	53,808	54,457	57,401	54,475
	(b)予算現額	52,855	53,808	48,057	48,338	52,407	
	(c)増減額(b-a)	▲1,500	0	▲6,400	▲9,063	▲2,068	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	52,855	53,808	48,057	48,338	52,407	
	B.執行済額	47,591	48,087	46,178	47,991	48,940	
	うち交付金充当額	38,073	38,469	36,942	38,392	39,152	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	90.0%	89.4%	96.1%	99.3%	93.4%	
予算の状況の説明	予算については作業員の勤務実績等により258千円の不用額が発生した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観光地 :13箇所 アクセス道路 :45路線		目標 (美化作業の実施)	(13箇所 45路線)	(13箇所 45路線)	(13箇所 45路線)	
			実績 美化作業の実施	13箇所 45路線	13箇所 45路線	13箇所 45路線	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	観光地や施設及びアクセス道路の草木の伐採等による景観美化作業を計画どおりに実施する事ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	90%	96%	93%	
			目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であるとの回答結果が96%となり、目標を達成した。 ・優先順位や必要性の高い場所の選定を行いながら定期的に景観美化作業を行うことができた結果、安心安全な観光客の受入体制の整備を行うことができたと思う。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨や台風等の気象条件の影響による作業効率の低下や、草木の成長が著しい夏場において、美化作業の遅れが生じることがある。 ・気温が上昇する夏場には作業員の体調面の負担が大きく、作業効率維持の課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気象条件の影響や作業員の体調面の負担を減らすため、計画的な作業実施や、除草剤の活用を検討する。 ・作業効率向上を図るために、新規備品の購入を検討する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・気象条件や繁忙期等を勘案した作業実施の計画を行い、観光地としての通年での美化を目指す。 ・除草剤を活用するなど、美化作業員の作業効率向上に係る取組を推進する。 ・計画的な作業機械の更新を行っていく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



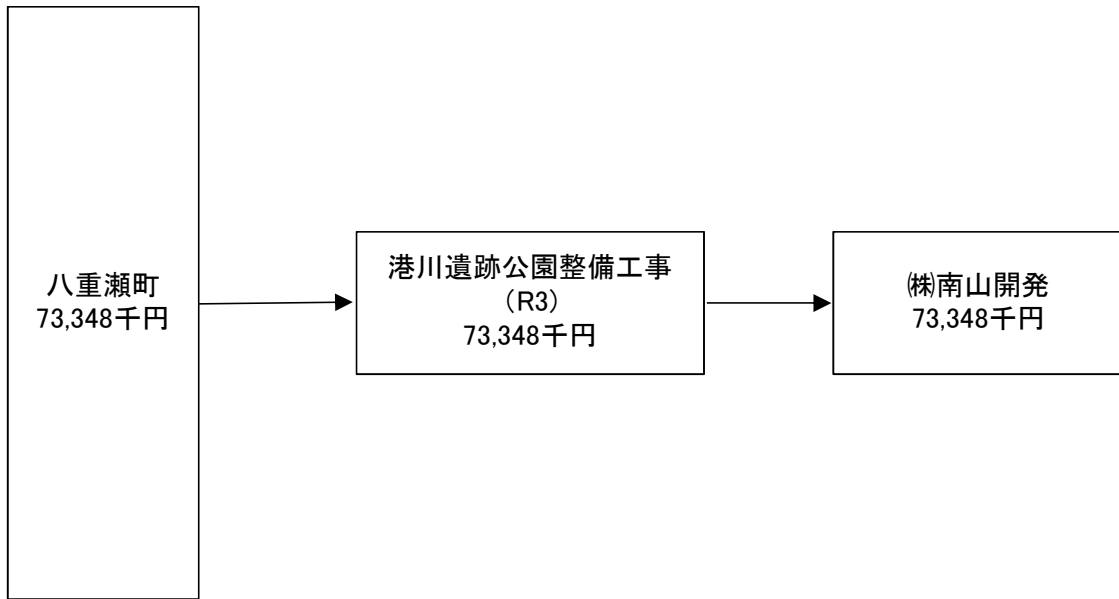
資金の流し、費用	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第3号の規定により選考を行い、また直接雇用の作業員については町の雇用促進の観点から公募、面接を行い採用しており妥当であると考えられる。 ○予算規模については、見積もり及び町条例に基づき算出しており事業に必要な予算規模であると考えられる。 ○費目、使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について支出等に関する書類において確認をし適正であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-② 港川フィッシャー遺跡整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	町内から出土した「港川人」を含む更新世化石人骨は東アジアでも発見されているが、保存がよく全体の形態がわかるのは港川人のみとなっており、貴重な資料となっている。こうした港川人の出土地である「港川フィッシャー遺跡」の教育および観光資源としての活用に向けて、周辺整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	11,297	18,925	64,320	107,453	75,000
		(b)予算現額	5,044	6,998	61,163	30,602	73,348
		(c)増減額(b-a)	▲6,253	▲11,927	▲3,157	▲76,851	▲1,652
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	5,044	6,998	61,163	30,602	73,348
		B.執行済額	4,839	6,932	61,160	30,602	73,348
		うち交付金充当額	3,870	6,932	48,928	24,481	58,678
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	95.9%	99.1%	100.0%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	工事発注実績に伴う予算の減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	港川フィッシャー遺跡の整備実施	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	計画どおり、整備工事を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(4年度)
	港川フィッシャー遺跡の整備完了	目標	()	()	()	(完了)	()
		実績				完了	
	【参考指標】 観光、研修等で訪れた方を対象にアンケート調査を実施。観光地、学習施設としての満足度を調査する(満足度80%以上)	目標	()	()	()	()	(80%以上)
		実績					
進捗状況説明	港川遺跡公園実施設計を基に、計画どおり整備工事を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 整備工事が完了し、公園開放することにより、公園施設団体利用者の申請手続き等が必要となるため担当者で協議し進めていく。 観光、研修等で訪れた方を対象にアンケート調査を実施し、観光地、学習施設としての満足度を調査する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業が完了し、施設を開放することにより植栽、施設等の維持管理体制を確立する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 観光、研修等で訪れた方を対象にアンケート調査を実施。観光地、学習施設としての満足度を調査する。 事業完了後、施設の維持管理を検討する必要がある。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
73,348	73,348	58,678	14,670	0

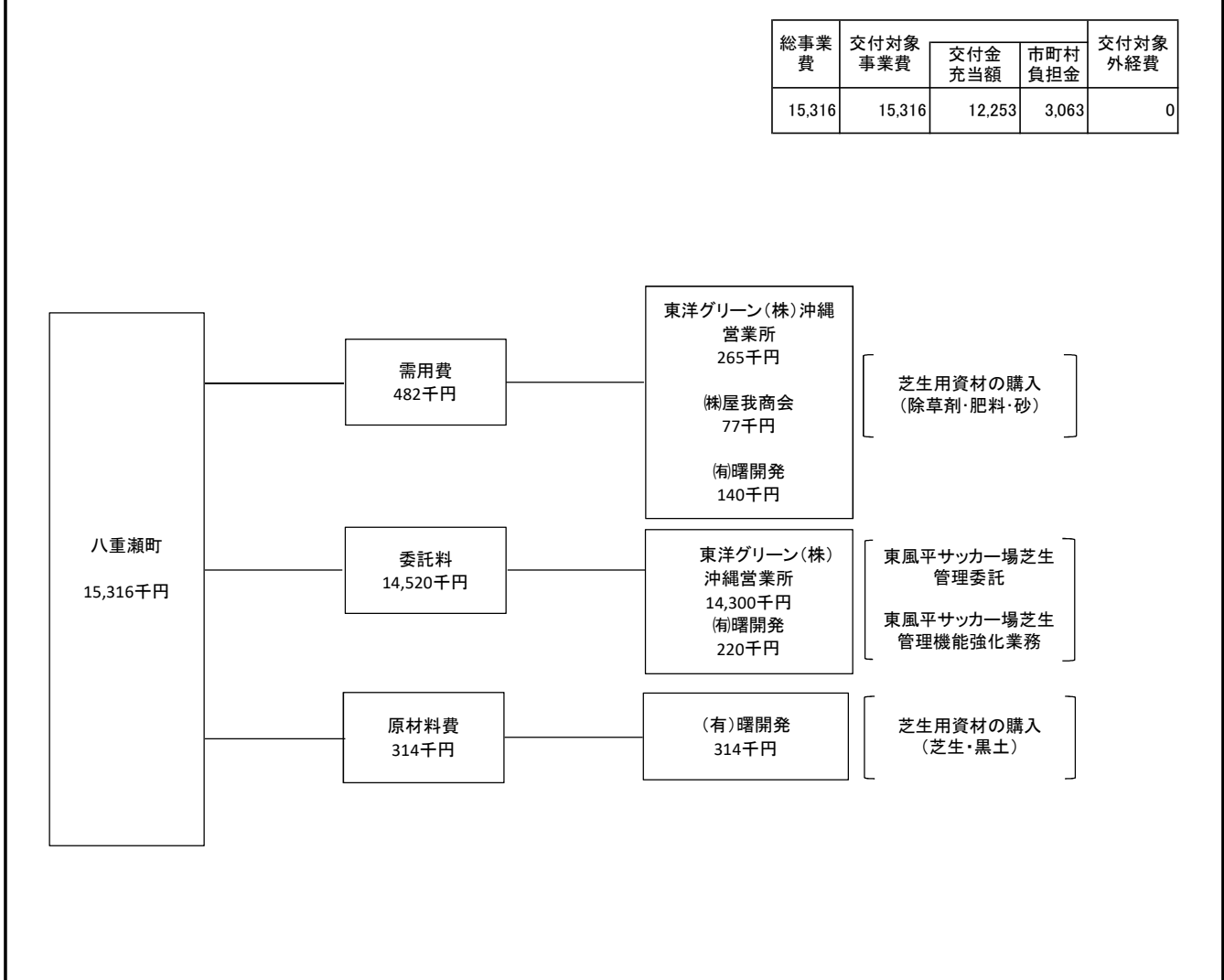


資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○支出先の選定は、地方自治法及び本町の財務規則等に従って選定されており妥当である。 ○予算規模についても適正な規模であった。 ○費目・用途については、事業達成に向けた観点から、事業に対して必要なものかどうか支出等に関する書類を精査し執行をしているため適正だった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③ 運動公園施設等整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部課名	教育委員会 スポーツ振興課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。令和3年度においては、東風平サッカー場等の芝生管理委託業務、東風平野球場の肥料及び資材の購入を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	20,771	24,600	82,155	61,949	15,334
	(b) 予算現額	20,771	24,600	114,231	15,994	15,334	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	32,076	▲ 45,955	0	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	20,771	24,600	114,231	15,994	15,334	
	B. 執行済額	20,136	24,332	112,780	15,895	15,316	
	うち交付金充当額	16,109	19,465	90,224	12,716	12,253	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	96.9%	98.9%	98.7%	99.4%	99.9%	
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> 東風平サッカー場においては芝生管理委託について予定通り執行することが出来た。 東風平野球場においては芝生管理に必要な肥料及び資材の購入について予定通り執行することが出来た。 					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	サッカー場プロ仕様芝生整備	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
	東風平野球場の芝生用肥料及び資材等の購入	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 東風平サッカー場においては、プロ仕様による芝生管理を行うことで冬場のサッカーキャンプの際に良好な状態で芝生を維持することが出来た。又、芝生管理に必要な砂置き場を配置することにより、施設の機能強化及び芝生管理の後押しを図ることが出来た。 東風平野球場においては、芝生用肥料及び資材購入により芝生環境の整備を行うことで、野球キャンプの受入れ環境の向上を図ることが出来た。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	野球キャンプの受入れ(5件以上)	目標	()	(5件以上)	(5件以上)	(5件以上)	()
		実績		1件	3件	5件	
	サッカーキャンプの受入れ(4件以上)	目標	()	(3件以上)	(3件以上)	(4件以上)	()
		実績		4件	2件	4件	
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 【野球キャンプ】 県外社会人チーム1件、県外大学チーム1件、県外少年野球大会1件、プロ野球選手における自主トレ2件の受入れ実績となった。 【サッカーキャンプ】 Jリーグチーム2件、九州リーグ大会1件、プロサッカー選手複数人による自主トレ1件の受入れ実績となった。 					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①サッカーキャンプ誘致における芝生管理 ・これまで懸念されていた砂置き場を配置することにより施設の機能強化が図られ、芝生管理の後押しを図ることが出来た。 ・サッカーグラウンドにおいてさらなる土壌の機能強化に努めたい。 ②野球キャンプ 芝生管理に必要な肥料及び資材を購入し、施設の機能強化を図ったことから、昨年を上回るキャンプ予約数があった。	①サッカー場の施設環境 芝生管理を継続してきた結果、土壌の硬さが年々改善されてきているがキャンプチームからは更なる機能強化を図るよう要望があり、要望に沿うような芝生管理委託を行う必要がある。 ②野球場 既存施設を生かしながら更なる機能強化の整備を図りつつ、キャンプ受入チームからの要望にも対応できるように継続して施設環境を整えたい。
	今後の取り組み方針	
①サッカーキャンプ キャンプチームからの要望でもある継続的な芝生管理を行うことで、芝生環境を整え施設の機能強化を図りたい。 ②野球キャンプ ・引き続き既存施設を生かしながらの機能強化を図りたい。 ・誘致件数の増加を図るため、町観光物産協会や旅行会社と連携して八重瀬町への観光の誘客につなげたい。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

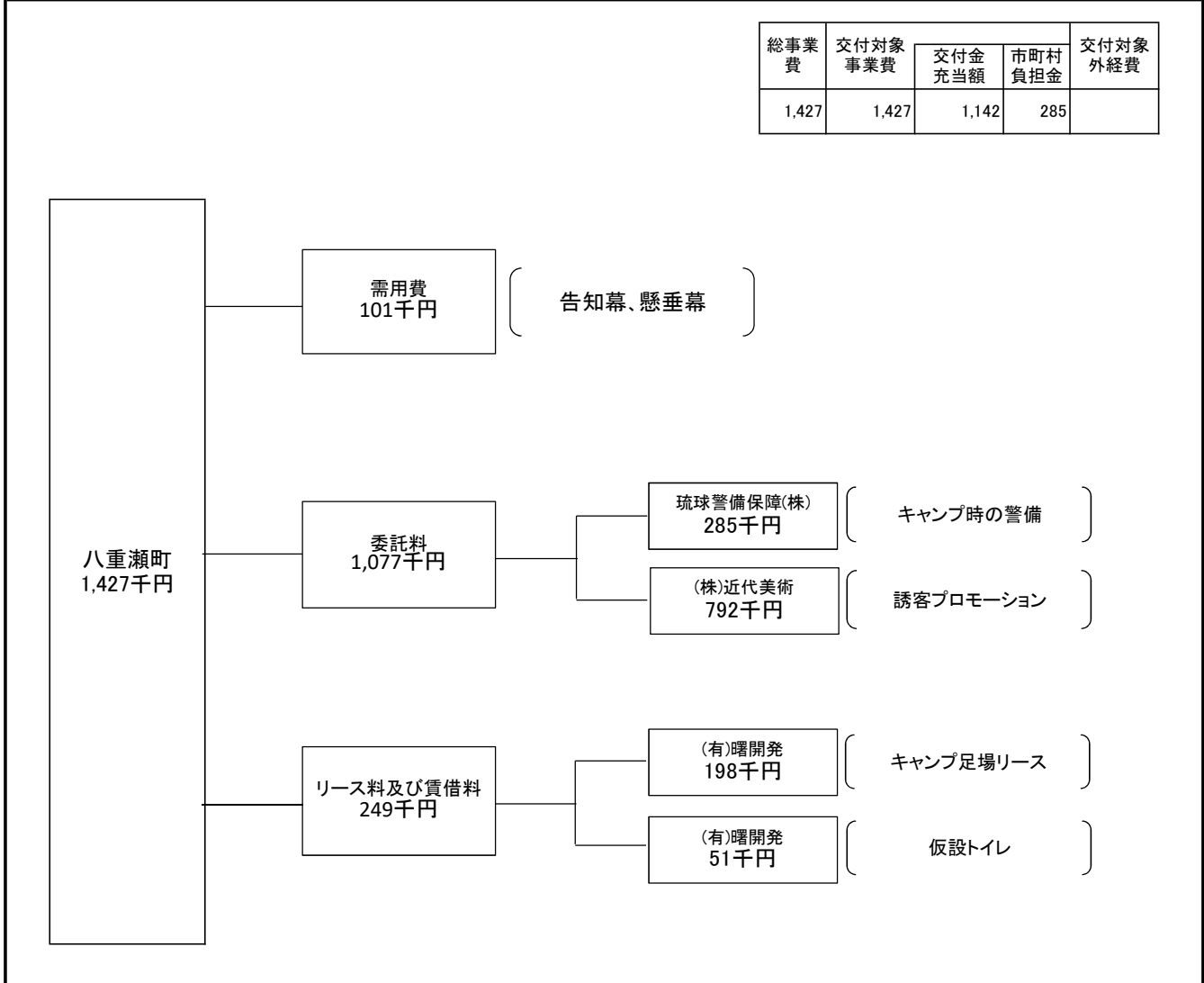


資金の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○東風平サッカー場芝生管理委託は地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき随意契約を行っており妥当である。 ○東風平野球場機能強化工事は国土交通省の歩掛、または複数業者見積を参考として設計額を算出しており、予算規模は適正だった。 ○受益者負担なし。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定されているかについて、工事・委託検査の際に支出等に関する書類により精査及び検査を行っており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④ 八重瀬町サッカーキャンプ事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
	国際的な沖縄観光ブランドの確立						
担当部署名	経済産業部 観光商工課 教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	Jリーグ加盟等のサッカーチームのキャンプを誘致し、観光誘客とキャンプ来場者の町内周遊を促す。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	2,045	8,955	11,304	5,906	3,959
	(b)予算現額	5,564	8,955	11,304	4,933	1,640	
	(c)増減額(b-a)	3,519	0	0	▲973	▲2,319	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	5,564	8,955	11,304	4,933	1,640	
	B.執行済額	4,685	656	3,975	4,885	1,427	
	うち交付金充当額	3,747	524	3,179	3,908	1,142	
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	84.2%	7.3%	35.2%	99.0%	87.0%	
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・予算の減額は、新型コロナウイルス感染症拡大による、キャンプ誘致に向けた調整旅費やチーム展示会の見送りによるもの。 ・キャンプ非公開による仮設トイレリースの数量減少等による不用額が生じた。 					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	プロサッカーチームのキャンプ誘致	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	観光客を誘客し、周遊・消費を促す	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
実績		—	実施	実施	実施		
達成状況説明	【キャンプ受入の内訳】 <ul style="list-style-type: none"> ・J1チーム「京都サンガF.C.」とJ2チーム「FC琉球」の計2チームを誘致した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により海外チームの受け入れは中止となかったが、キャンプ期間中にFC東京、大宮アルディージャ、ベガルタ仙台とトレーニングマッチを行い、多くのプロチームが八重瀬町を訪れた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	サッカーキャンプチーム4チーム誘致	目標	()	(3チーム)	(3チーム)	(4チーム)	()
		実績		4チーム	2チーム	2チーム	
	周遊ツールを活用し、150万円の消費を促す	目標	()	(250万円)	(150万円)	(150万円)	()
		実績		121.4万円	82.5万円	17万円	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による影響で、キャンプの非公開が決定し、誘客を図ることが困難であった。 ・目標とするJリーグ2チームの誘致は達成したが、海外からの受け入れは中止となり、目標誘致総数は下回った。 ・本町サイトのSNS(Twitter, youtube)を活用し、キャンプの様子や期間中の町の取組を紹介することで、チーム関係者やチームサポーターが本町を知るきっかけ作りに繋がった。 						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・歓迎横幕やのぼりの設置、スタンプラリーの取組等を行うことで、キャンプの周知につながり、徐々に八重瀬町内でのキャンプが浸透してきた。 ・新型コロナウイルスの感染拡大により、無観客開催の場合やチームの柔軟な対応(練習日程の調整、練習試合等)が求められるため、県や関係者と連携して調整していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大が続いている中で、SNSや非接触型アプリケーション等を活用した取組を検討し、本町のPR並びにスポーツキャンプを盛り上げることで、住民と一体となってさらなる地域活性化を図る。 ・チーム関係者及び沖縄県、各市町村と密に連携を行いながら、キャンプの意見交換会等での各市町村の取組や県の対応などを参考にしながら機運醸成を図る。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・県と調整して誘致するチームを検討、決定し、継続して誘致活動を推進することで、キャンプの定着化を図る。 ・周遊ツールによる経済効果等の把握に向けた取組については継続して実施していく。従来よりキャンプを行うチームの決定が年末年始とギリギリであることから、短期間でキャンプの実施にかかる周知広報が可能な手法がないか検討し、町内消費及び事業効果の拡大を図る。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



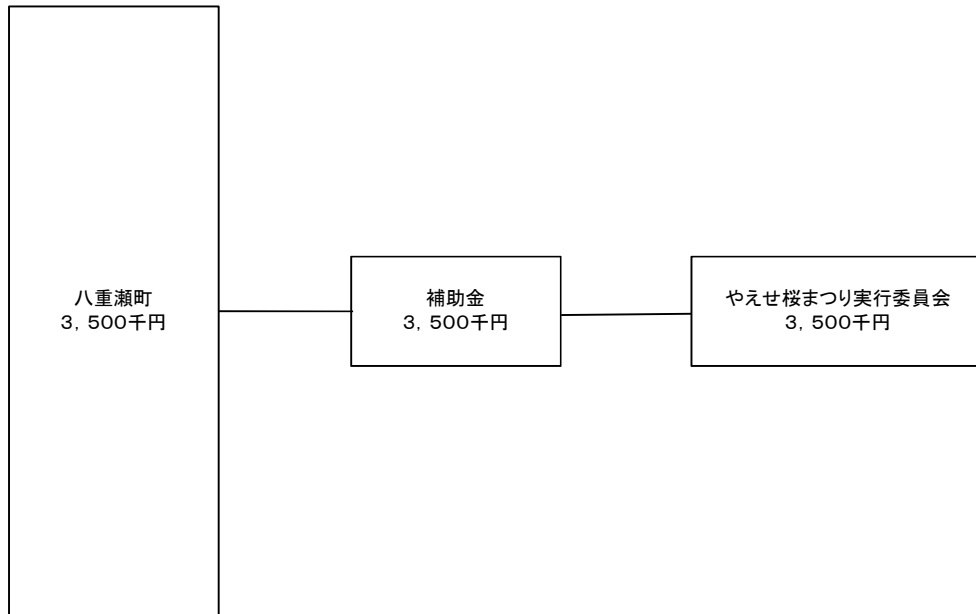
資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○予算執行については、八重瀬町契約規則に基づき執行し、支出先の選定方法は妥当だったと考える。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤ 八重瀬町イベント事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ		
担当部署名	経済建設部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	町の観光資源である桜を活用して観光客の誘客を図るため、桜まつりの開催支援を行った。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためステージイベントは実施しなかったが、会場内で桜だけでなく、町花(マリーゴールド)やライトアップを楽しめるイベントを支援した。						
効果発現年度	■当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) <input type="checkbox"/>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	8,600	6,683	4,071	0	3,500
		(b)予算現額	8,600	4,683	4,071	0	3,500
		(c)増減額(b-a)	0	▲2,000	0	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A.計(b+d)		8,600	4,683	4,071	0	3,500
	B.執行済額		8,347	4,592	3,808	0	3,500
	うち交付金充当額		5,054	3,673	3,046	0	2,800
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.1%	98.1%	93.5%	-	100.0%
予算の状況の説明		計画通りの執行となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	やえせ桜まつりの開催支援		目標 (支援実施)	(支援実施)	(-)	(支援実施)	
			実績	支援実施	支援実施	-	支援実施
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・やえせ桜まつりの開催を支援し、八重瀬公園の桜を沖縄南部桜の名所として広くPRし地域活性化に寄与した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値 (R1年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (R4年度)
	やえせ桜まつり来場者数 7,400人以上		目標 (6,400)	(6,400)	(-)	(7,400)	()
			実績	6,300	-	12,376	
			目標 ()	()	(-)	()	()
			実績		-		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> イベントを運営するため実行委員会への補助を行い、補助金は企画運営に対する経費等に充てられた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ステージイベントを実施せず、八重瀬公園内でライトアップを強化し、期間を延長した。 来場者数は、入口に防犯カメラを設置し、入場者をカウントした。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 花の植栽のボランティアを募集したが「まん延防止措置」のため中止となり、実行委員会での植栽となり、人手不足となった。 入場者の管理、飲食店の出店など、新型コロナウイルスの感染症状況によって対応が必要になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害等により従来の方法によるイベントの開催が困難な場合における、代替的实施方法を検討する必要がある。(オンライン配信型のイベント実施など)
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> イベントの来場者の更なる滞在時間・消費額の増加を図る。 情報発信・プロモーションをより早期から実施する。 観光客が立ち寄るスポット(宿泊施設・レンタカー営業所・町内外観光施設等)におけるPR、県内旅行代理店に対するツアールート組み込みの働きかけ。 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光客を再び誘致するため、情報発信の強化。 十分な自主財源を確保し、継続可能な体制の構築。 「八重瀬町観光拠点施設」と連動し、積極的に活用する取組の実施。 計画段階より代替日・代替イベント等の検討を実施するなど、柔軟な実施体制の構築。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,500	3,500	2,800	700	0



資金の流れ、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○八重瀬町財務規則に基づき予算執行しているため妥当である。 ○費用・用途については、事業目的達成の観点からも必要性を精査し執行しており、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

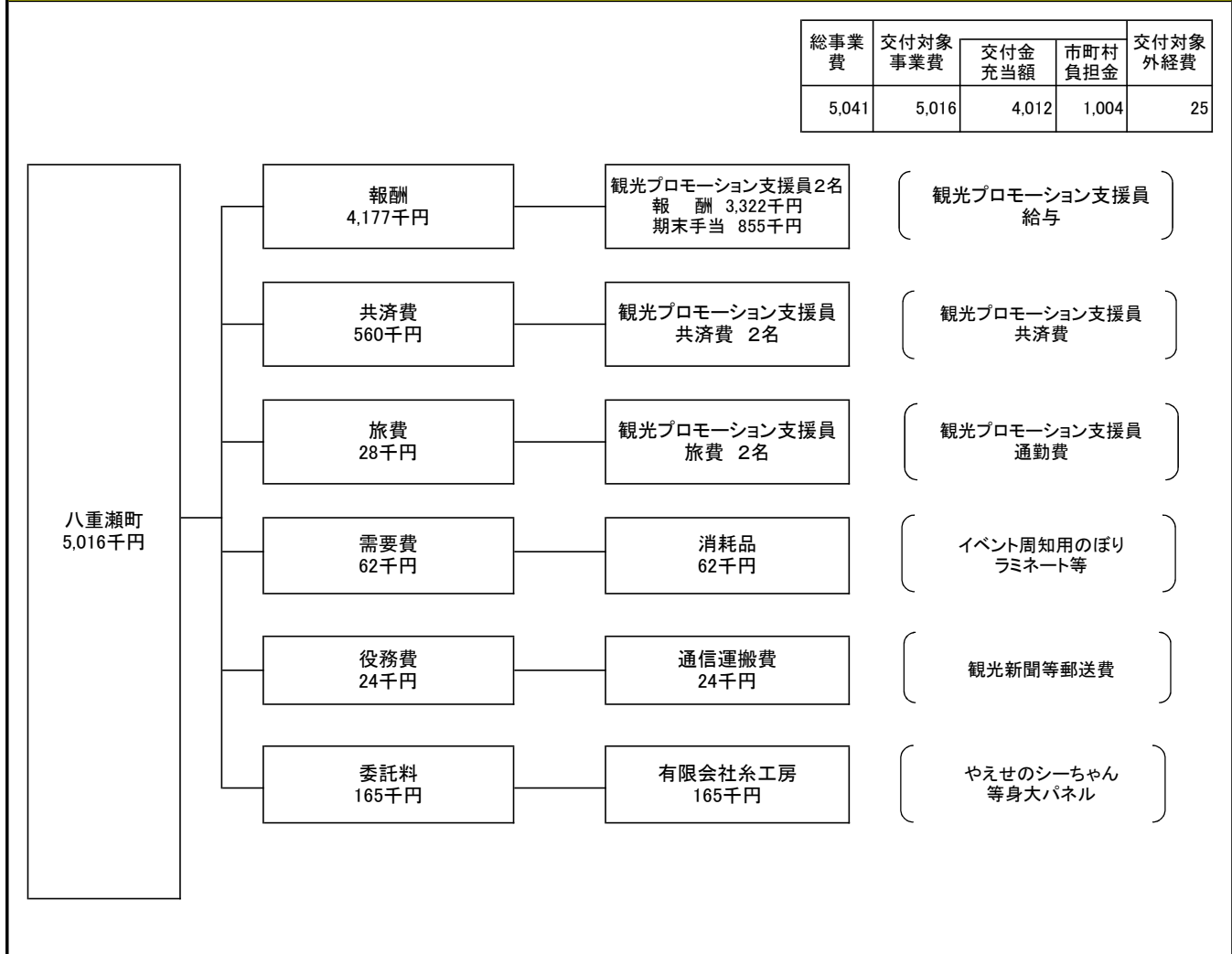
市町村名		八重瀬町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 八重瀬町観光プロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ	
	経済産業部 観光商工課		事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開	
担当部課名						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	町内への観光誘客のため、観光プロモーションを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	10,111	5,031	20,617	6,178	6,192
	(b) 予算現額	10,111	5,208	8,413	5,508	5,016	
	(c) 増減額(b-a)	0	177	▲12,204	▲670	▲1,176	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	10,111	5,208	8,413	5,508	5,016	
	B. 執行済額	8,610	4,891	6,107	5,421	5,016	
	うち交付金充当額	6,888	3,912	4,884	4,884	4,012	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	85.2%	93.9%	72.6%	98.4%	100.0%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症拡大に伴うイベントの規模縮小や支援員の勤務実績による予算の減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	八重瀬町プロモーションの企画提案実施(6回)	目標	(6回)	(6回)	(6回)	(6回)	
		実績	13回	16回	17回	14回	
	SNS等による八重瀬町観光情報の発信(100回)	目標	(100回以上)	(100回以上)	(100回以上)	(100回以上)	
		実績	233回	561回	618回	798回	
	【参考指標】 観光プロモーション支援員の配置(2人)	目標	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	
実績		2人	2人	2人	2人		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・当初観光プロモーション支援員を2名配置していたが、途中1名が産休となったため追加募集を行ったが人員の確保ができず、11月以降は支援員1名となった ・八重瀬町公式キャラクター「やえせのシーちゃん」を活用したプロモーションや、八重瀬町観光拠点施設「南の駅やえせ」への誘客イベント等、支援員が企画提案・運営管理する観光プロモーションを14回実施した。 ・昨年度に引き続きSNSを活用した情報発信を強化し、798回実施した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	主要観光施設の入域観光客数(107,000人)	目標	()	(250,000人)	(290,000人)	(107,000人)	()
		実績			約267,000人	約230,000人	約205,000人
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・年度前半は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、八重瀬町観光拠点施設(南の駅やえ)せへの集客が伸び悩んだものの、年度後半は町観光課独自で作成した新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを元に観光イベントの開催した。 ・各種イベントが中止・延期になる中、町公式キャラクター「やえせのシーちゃん」の出勤が減っていることから、等身大のシーちゃんパネルを作成し、観光拠点施設に設置することで、いつでも一緒に一緒に撮影が可能になった ・大規模イベントが難しいことから、昨年度同様SNSを活用した情報発信を強化した。インスタグラムでのまちあるき生配信やYouTubeを活用した動画配信、インスタグラムでのフォトコンテストを行った。 					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・八重瀬町観光拠点施設「南の駅やえせ」の来場者数は年々増加していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりR2年度以降観光客が前年度を下回っている ・4月から10月まで緊急事態宣言が続いたためイベントを自粛した。11月以降は、八重瀬町観光拠点施設「南の駅やえせ」で、集客をともなう屋外イベント(手作り市)は、集客多いミニステージは回数を減らすかもしくは中止にし開催した。その際、町観光課独自に作成した感染予防マニュアルに沿って開催した。 ・イベント等を実施するには施設内の駐車場が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの感染状況によって、誘客が難しい場合もあることから、SNSでの情報発信に注力しているが、さらに魅力的なコンテンツにしていけるように検討する。 ・南の駅やえせでのイベント時の駐車場不足を解消するため、R4年度以降は新たに駐車場について検討を行う必要である。

今後の取り組み方針

- ・サイクリングコースの設定やスタンプラリーの開催など観光客が町内で滞在する時間を増やすための取り組みを行う
- ・町観光コンテンツの魅力をわかりやく伝えるため、新たな観光HP制作を行う
- ・短時間に集中した誘客イベントから長時間にわたって人が密にならないウィズコロナのイベントを年間を通して継続的に開催できるように取り組んでいく。
- ・駐車場についての検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



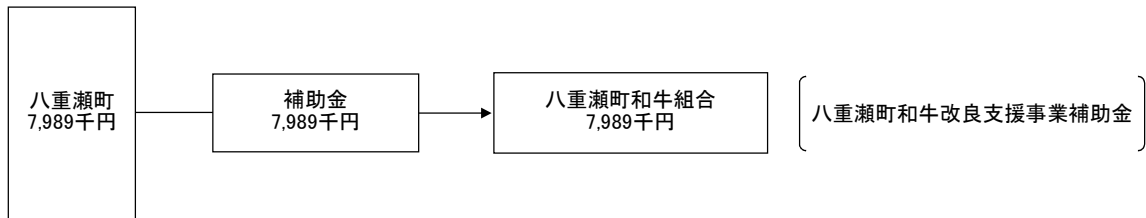
資金の流れ、検証評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○八重瀬町契約規則に基づき予算執行しているため妥当であったと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○受益者負担なし ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		八重瀬町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-② 八重瀬町和牛改良支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部署名	経済建設部 農林水産課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
事業内容	農家の経営安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		12,000	12,000	12,000	10,000	8,000
			12,000	12,000	12,000	10,000	8,000
			0	0	0	0	0
			-	-	-	-	-
	B. 執行済額 うち交付金充当額		12,000	12,000	12,000	10,000	8,000
			11,787	11,825	11,908	9,523	7,989
		9,430	9,460	9,526	7,618	6,391	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		98.2%	98.5%	99.2%	95.2%	99.9%
予算の状況の説明	不要額については、雌牛導入実績によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	優良母牛導入頭数:20頭	目標	(30頭)	(30頭)	(25頭)	(20頭)	
		実績	31頭	31頭	25頭	21頭	
目標	()	()	()	()			
実績							
達成状況説明	令和3年度において、優良母牛を21頭導入し目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合(115%以上)	目標	()	(115%以上)	(115%以上)	(115%以上)	()
		実績		115%	110%	105%	
	目標	()	()	()	()	()	
実績							
進捗状況説明	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合は105%となり、目標を達成できなかった。 コロナウイルスの影響で、飲食店が閉店・時間短縮営業を行ったため、和牛の提供が減少し、セリの価格が下落した。 【R3年度セリ結果(R3.4月～R4.3月)】 ・導入牛以外の子牛 平均 680,007円 ・導入牛(H26年度～R3年度)の子牛 712,565円						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で、飲食店が時間短縮営業を行ったため、和牛の提供が減少し、セリの価格が下落した。 ・県内外の優良導入牛から生まれた子牛のブランド化を推進するために、導入した雌牛の受精状況や生まれた子牛のセリ価格を正確に把握し、事業成果の検証が行えるようにデータの収集や蓄積を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入した雌牛の受胎率を確認し、農家に対して適切な飼養管理を指導するために関係機関と連携していく。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・導入した雌牛の生産報告の取り組みによって、受胎率が低い雌牛については農家に対して定期的に獣医師による受診を促し受胎率の向上を目指す。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,989	7,989	6,391	1,598	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○町の補助金関係の例規・要綱に従い選定されており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は、導入経費の2分の1を負担しており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により精査確認し適正であった。

市町村名		八重瀬町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③ 乳用牛改良支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
	経済建設部 農林水産課			事業実施(予定)年度 平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備	
担当部署名					Ⅲ-I-(6)		
事業内容	農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、優良母牛導入の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	12,000	12,000	12,000	12,000	9,600
	(b) 予算現額	12,000	12,000	12,000	12,000	7,200	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	▲ 2,400	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	12,000	12,000	12,000	12,000	7,200	
	B. 執行済額	12,000	12,000	10,884	11,261	6,195	
	うち交付金充当額	9,600	9,600	8,707	9,008	4,956	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	90.7%	93.8%	86.0%	
予算の状況の説明		・予算の減額、不要額については導入実績によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	優良母牛導入頭数:24頭		目標 (30頭)	(30頭)	(30頭)	(24頭)	
			実績 30頭	30頭	30頭	18頭	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	令和3年度導入実績は、コロナウイルスの影響で飼料価格が高騰したことにより導入を見送った農家がいたことから18頭となり目標未達成となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	生産乳量:4,469,000kg以上		目標 ()	(3,947,000kg)	(3,960,000kg)	(4,680,000kg)	(4,469,000kg)
			実績	4,379,475kg	4,164,070kg	4,484,305kg	4,611,989kg
	乳質(脂肪率):3.9%以上		目標 ()	(4.12%以上)	(4.12%以上)	(4.0%以上)	(3.9%以上)
			実績	3.87%	3.92%	3.97%	4.02%
進捗状況説明	生産乳量については、実績が4,611,989kgとなり、目標を上回った。 乳質(脂肪率)については、実績が4.02%となり、目標を上回った。 【令和3年度の乳量・乳質結果(R3.4月～R4.3月)】 ・乳量(12戸):合計4,611,989kg 平均384,332kg ・乳質(12戸):平均4.02%						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・気温が高い日が続かなかったことと農家の暑さ対策で、乳量・乳質の増加がみられた。	・乳量、乳質の維持、増加を図るため、天候や気温の対策を徹底するよう農家の意識を向上させる必要がある。
	今後の取り組み方針	
・乳用牛は気温や気候に影響受けやすいため、関係機関と協力し乳量・乳質の維持、増加に向けて対策に取り組んでいく。		

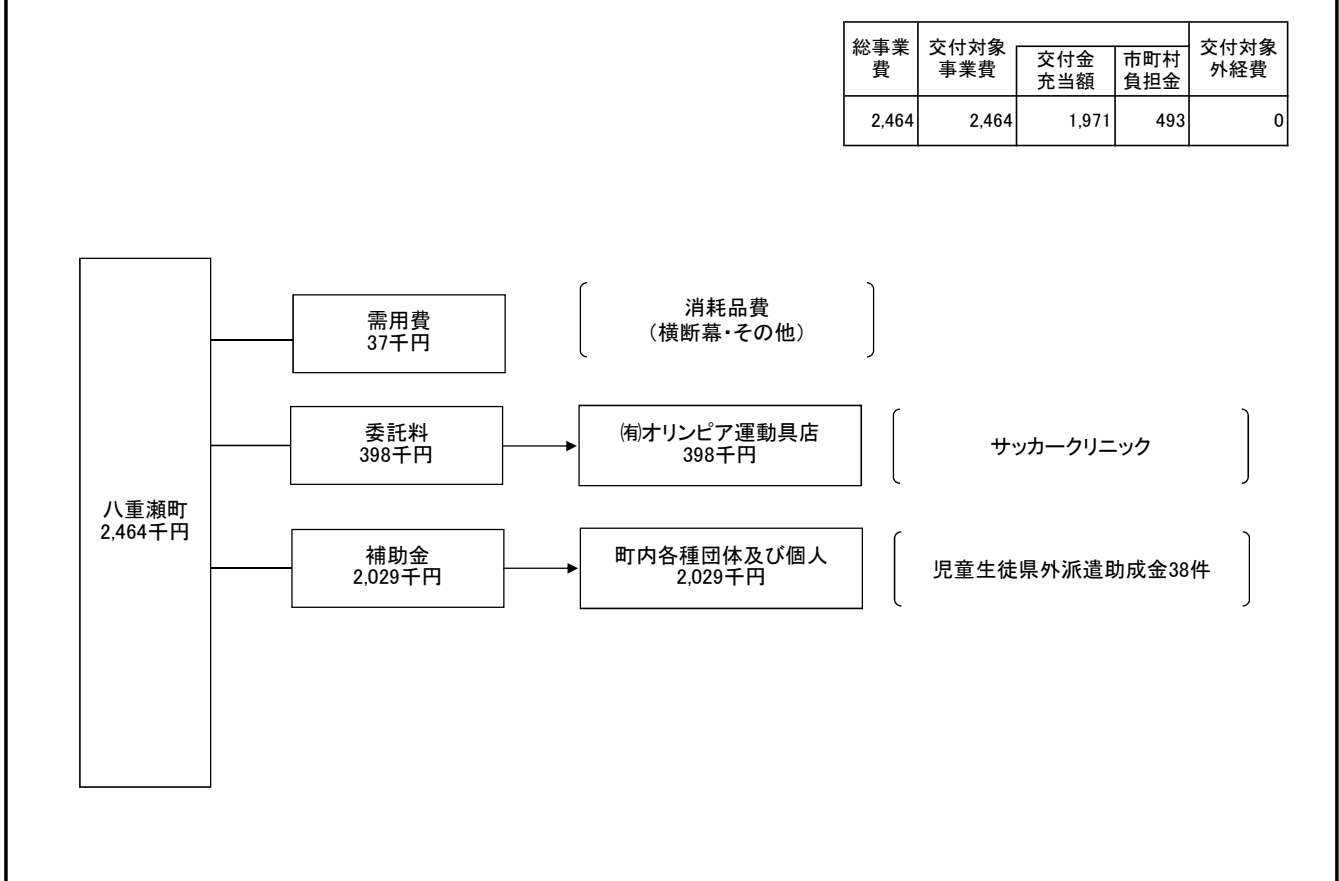
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,195	6,195	4,956	1,239	0
<pre> graph LR A[八重瀬町 6,195千円] --> B[委託料 6,195千円] B --> C[沖縄県酪農農業協同組合 6,195千円] subgraph D [] C end style D stroke-dasharray: 5 5 </pre>				

資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は、地方自治法及び本町の財務規則等に 従って選定されており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算の規模は、事業内容に即した適正額であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は、導入経費の2分の1を負担しており、受益者との 負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については、事業目的達成の観点から必要なもの のか等について、支出等に関する書類により精査確認し 適正であった。

市町村名		八重瀬町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-① 「夢・未来」スポーツレベルアップ事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-イ		
担当部署名	教育委員会 スポーツ振興課		事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進	
事業内容	児童生徒のスポーツの意識を高めることを目的として、トップアスリートによるスポーツ教室等を開催する。また、児童生徒に広い視野を持たせることを目的として、県外で実施される各種大会へ派遣される際の旅費支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	3,427	4,878	4,879	4,879	1,875
	(b)予算現額	4,427	5,150	4,879	1,279	1,875	
	(c)増減額(b-a)	1,000	272	0	▲3,600	0	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	4,427	5,150	4,879	1,279	1,875	
	B.執行済額	4,365	4,950	3,199	957	2,464	
	うち交付金充当額	3,492	3,492	2,559	765	1,971	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.6%	96.1%	65.6%	74.8%	131.4%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症による影響を受けた前年度より児童生徒県外派遣の申請数が増加したことから、派遣費が増額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	サッカー・バレーボールクリニックの開催		目標 (開催)	(開催)	(開催)	(開催)	
			実績 開催	開催	開催	開催	
児童生徒の県外派遣費の助成		目標 (助成実施)	(助成実施)	(助成実施)	(助成実施)		
		実績 助成実施	助成実施	助成実施	助成実施		
達成状況説明	①スポーツクリニック ・サッカークリニックを町内小中学生を対象にサッカーキャンプ前の12月に開催した。 ・バレーボールクリニックについては新型コロナウイルス感染症の影響を受け、未開催となったが、東京オリンピック事前合宿予定チームへの応援メッセージを製作しスポーツに対する機運醸成を図ることが出来た。 ②児童生徒の県外派遣費の助成 ・コロナウイルスの影響を受けた前年度13件を上回る38件を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について、アンケートにより検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	90%	97%	89%	
	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持たせたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績	100%	84%	97%		
進捗状況説明	①クリニックの開催 ・スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケート検証の結果を児童生徒のスポーツへの意識が高まったとの回答が89%(17名/19名)となり、目標を達成した。 ②児童生徒の県外派遣費の助成 ・派遣された児童生徒の保護者へのアンケートによる検証を実施した結果、県外大会に派遣されることにより広い視野を持つことが出来たとの回答が97%(66名/68名)となり、目標を達成した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①クリニックの開催 ・バレーボールクリニックについては東京オリンピック事前合宿チームにより開催予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより実技指導及び練習観戦が困難となり、未開催となった。	①クリニックの開催 ・新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し影響を受けるスポーツ競技から影響が少ない競技への転換を年度途中に判断し、検討する必要がある。 ②児童生徒の県外派遣費の助成 ・予算執行状況の把握に努め、計画的な予算流用及び変更申請を行うことが必要である。
	②児童生徒の県外派遣費の助成 ・新型コロナウイルス感染症により影響を受けた前年度よりも申請件数が増加した。	
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクリニックを開催する際には新型コロナウイルス感染症の状況等を見極めてスポーツ競技を開催する。 ・派遣費助成については、予算執行状況の把握に努め、変更申請及び経費の変更の検討を行うように努める。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



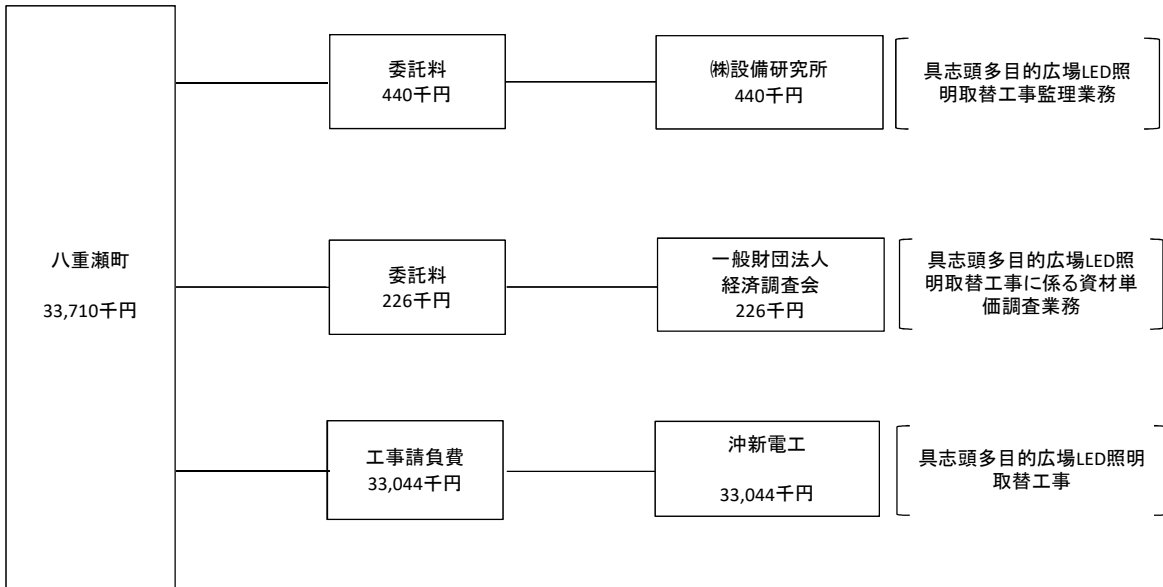
資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法施行令167条の2第1項第2号に基づき随意契約を行っており妥当である。 ○予算額については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年度よりも県外派遣の申請数が増加した為、変更申請及び経費変更の手続きが生じた。 ○補助金については受益者である町内各種団体及び個人について航空費の5割を負担しており妥当と考える。 ○費目・使途は委託料及び事業執行の為に消耗品費であり、必要経費と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-① 運動公園省エネ化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア		
担当部署名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進		
事業内容	運動公園の既存照明をLED化することにより、二酸化炭素と消費電力を削減し、地球温暖化の防止を図るため省エネ化の推進を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	28,821	56,700	50,890	39,493	34,346
		(b)予算現額	28,821	69,580	50,890	38,665	34,305
		(c)増減額(b-a)	0	12,880	0	▲828	▲41
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A.計(b+d)		28,821	69,580	50,890	38,665	34,305
	B.執行済額		18,272	68,050	32,171	38,555	33,710
	うち交付金充当額		14,618	54,440	25,736	30,844	26,968
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		63.4%	97.8%	63.2%	99.7%	98.3%
予算の状況の説明		予算の減額、不要額の発生については、工事請負費・委託料の執行実績によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	具志頭多目的広場及びトイレ等の資材単価調査、LED照明設置		目標 (設置)	(設置)	(設置)	(設置)	
			実績 設置	設置	設置	設置	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明		・委託料においては具志頭多目的広場の照明工事に伴う監理業務を事業期間内に完了することが出来た。又、 ・工事請負費においても、具志頭多目的広場のナイター照明をLED照明への取替工事を事業期間内に完成することが出来た。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	具志頭運動公園の1ヶ月あたりの二酸化炭素排出削減量4.1t/月		目標 ()	(4.7t)	(3.3t)	(4.1t)	()
			実績	2.7t	3.3t	4.1t	
			目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明		成果目標の設定については過年度に行った設計業務の際の二酸化炭素排出量計算より算出しており、本工事を行うことで既存照明の6.6t/月排出するところ、LED照明に取替することで、2.5t/月の二酸化炭素排出量となることから、その差4.1t/月の二酸化炭素排出を削減できることとなる。よって本工事を完成したことから成果目標を達成することが出来た。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	請負工事費について、工事入札の際に、入札残が生じた。又、委託料においては業者見積合わせによる随意契約により不用額が発生した。	事業執行にあたり委託及び工事の発注時期を早期に行い、入札残等を早めに把握することで計画的に変更申請にて減額を検討することができる。
今後の取り組み方針		
公共施設のLED化を町広報誌へ掲載し、町民へ周知することにより、環境に対する意識向上を図りたい。又、事業執行にあたっては不用額を未然に防ぐため、計画的に変更申請にて減額等の対応を行い、不用額の縮減に努めたい。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
33,710	33,710	26,968	6,742	0



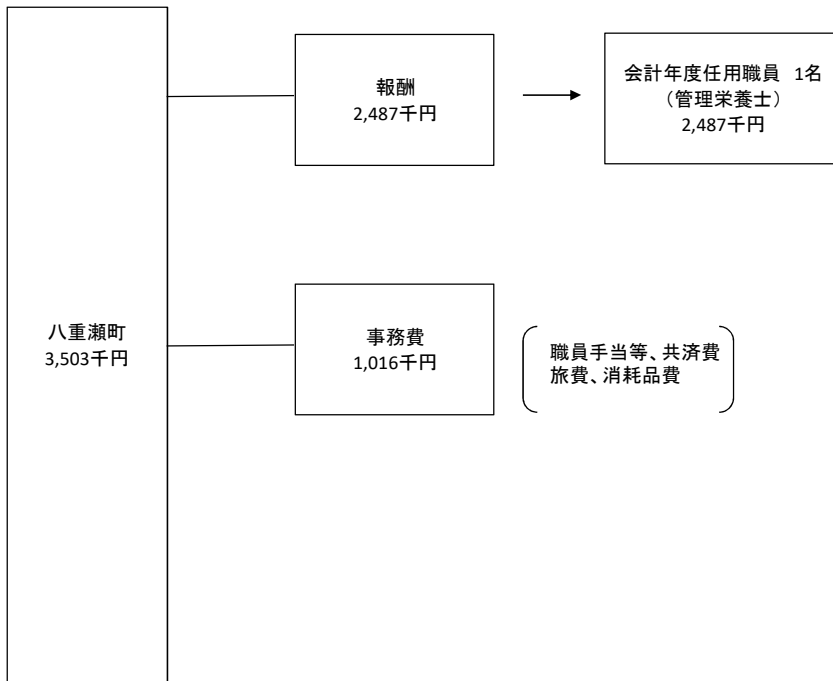
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事及び委託については、本町指名審査会で選定し、指名競争入札により実施しており妥当である。委託業務については地方自治法施行令第167条の2第1項第1号に基づき、競争見積方式による随意契約を行っており妥当である。 ○受益者負担なし。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定されているかについて、工事・委託検査の際に支出等に関する書類により精査及び検査を実施しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-① 若い世代からの健康づくり推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-ア		
担当部署名	民生部 健康保険課	事業実施(予定)年度	令和1～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進		
事業内容	健康相談や育児教室等にて、実物大のフードモデル(食育SATシステム:体験型栄養教育システム)を活用し、住民が自身の食生活に興味を持ち、食事バランスや量など現状の食生活を見直すきっかけとし、日頃の食生活で「考えて食べる」事を意識化できるように事業を展開することで、生活習慣病を予防し、健康長寿八重瀬町を目指す。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R 年度	R 年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,717	3,598	3,554		
	(b) 予算現額	6,717	3,598	3,554			
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0			
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	6,717	3,598	3,554			
	B. 執行済額	6,591	3,493	3,503			
	うち交付金充当額	5,272	2,794	2,802			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	98.1%	97.1%	98.6%			
予算の状況の説明	概ね計画どおりに執行できた。不用額50千円については、会計年度任用職員や消耗品費の実績によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R 年度	
	食育SATシステムを活用した理解しやすい事業の展開	目標	(事業の展開)	(事業の展開)	(事業の展開)	()	
		実績	事業の展開	事業の展開	事業の展開		
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	・健康相談・健康教室・幼児健診等の各保健事業の中で、食育SAT体験を34回実施(食育SAT体験者数は416人)し、日頃の食生活における意識の向上を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	各種事業参加者の食に対する意識や健康観の向上(80%以上)を含め、アンケートにより当事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		92%	95%	97%	
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	・アンケート調査による検証の結果、97%の方から「食事を改善したい」との回答が得られた。 ・また、自由記載の欄では「食生活を見直す機会がなかったので良かった」「生活習慣病の予防になると思う」「次回も機会があればやってみよう」と、肯定的な意見が聞かれた。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の結果から、約9割の方がこれまでに受けた栄養相談(指導)と比較して、食育SATシステムを活用した栄養相談の方が分かりやすかったと回答していた。食育SATシステムを活用することで、理解しやすい事業を展開することが出来たと考えられる。 新型コロナの影響で、今年度も地域への事業展開が中止となった。既存の保健事業での食育SATの活用となったが、既存の保健事業のみでは若い世代や後期高齢者の体験者が少なくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を強化したうえで、既存の保健事業のみでなく、若い世代や後期高齢者が参加する地域の活動への介入が必要である。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 既存の保健事業に加えて地域への介入を増やし、より多くの住民・年齢層へ食育SATシステムの活用及びび食に関する啓発を行えるよう事業を展開する。 集団での事業の際は、プロジェクトを活用し、対象者により分かりやすく、インパクトを与えることができるような内容を検討する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,503	3,503	2,802	701	0



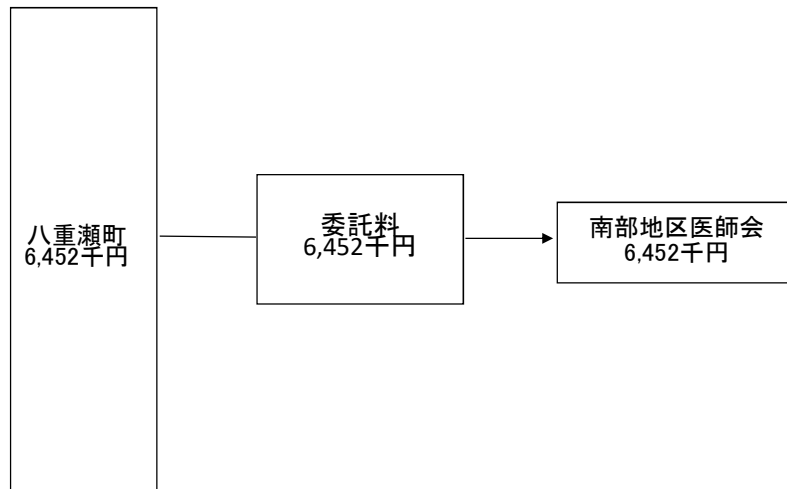
資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○ 費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-① 輸入感染症対策推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(3)-オ		
担当部署名	民生部 健康保険課	事業実施(予定)年度	令和2～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	保健衛生の推進		
事業内容	近年沖縄県内において、外国からの観光客が急増しており、麻しん及び風しんの感染拡大が懸念されている。麻しん及び風しんは非常に感染力が強く、一人が感染すると短期間で感染拡大したり、重症化すると脳炎や肺炎など合併症を引き起こす可能性がある。また妊娠初期の妊婦が風しんに感染すると、生まれた子どもに障害を残す恐れがある。本町では予防接種法に基づき、1歳児と小学校就学前の児童(6歳程度)に対し定期接種を実施している。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		8,406	7,388			
			7,354	6,644			
			▲ 1,052	▲ 744			
			7,354	6,644			
	B. 執行済額 うち交付金充当額		7,354	6,452			
			5,883	5,162			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	97.1%			
	予算の状況の説明	予算の減額・不用額の発生については、接種実績によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	麻しん及び風しん予防接種の実施 (接種率95%以上)	目標	(95%)	(95%)	()	()	
		実績	94.60%	89.40%			
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	R3年度MR1・2期予防接種券発行者数821件、R3年度MR1・2期接種者数734件であった。R3年度MRワクチン接種率は89.4%で目標の95%以上を達成できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	目標	()	(0件)	(0件)	()	()
		実績		0件	0件		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	活動目標の麻しん及び風しんの予防接種率は89.4%で目標を達成できなかったが、成果目標である外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数は0件であり、目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	活動目標を達成できなかったのは、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響が大きいのと考えられる。	就学前健診での接種勧奨や保護者への電話での接種勧奨等、直接保護者へ接種勧奨する方法を活用する。
今後の取り組み方針		
1歳児と小学校就学前の児童(6歳程度)に対し予防接種予診票と定期接種を実施する。 期限迎えるワクチン未接種者に予防接種勧奨(就学前健診での接種勧奨、電話での接種勧奨、広報・町ホームページ等での接種勧奨)を実施する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
7,742	6,452	5,162	1,290	1,290



資金の流 途の点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、医療機関を取りまとめている南部地区医師会と随意契約しており、支出先の選定方法は妥当であったと考えている。 ○予算規模は不用額もなく事業内容に見合った規模であったと考えている。 ○予算の費目・用途については、事業目的に即し、必要なものであったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	